

選択したジャンルのタスクを取得する処理の実装									
達成要件					実装の例				
<p>■ renderOptionという関数を定義し、ジャンルの要素分「optionタグ」が追加されるように記述してください。</p> <p>■ 選択した値の管理は、上層のコンポーネントで行うようにしてください。Selectモデルでは、選択を処理する関数をpropsで渡して実装しましょう。 なお、上層コンポーネントでは選択した値を管理する stateを定義してください。 ※event.target.valueの値は、文字列です。ソートする際には注意してください。</p> <p>■ genreをpropsで受け取り、値があれば optionタグ (valueが0)を表示するようにし、選択で空行が入るようにしてください。</p>					<pre>import React from "react"; import { GenreType } from "../../interfaces/Genre"; interface Props { selectList?: (event: any) => void; // 選択時に値をセットする関数 genres?: GenreType[]; initialValue?: number; } const renderOption = (props: Props) => { return (//要素の数分、optionが追加されるように記述する <option key={ジャンルのid} value={ジャンルのid}> {ジャンル名} </option>); }; export const Select = (props: Props) => { return (<select value={初期値をセット} className="select" onChange={props.selectList} > { /* ジャンルのセレクトの場合は、valueが0のオプションも追加する */ } {props.genres !== undefined && valueが0のオプション} {renderOption(props)} </select>); };</pre>				